

# 日本設備工業新聞

発行所  
(株)日本設備工業新聞社  
東京都渋谷区桜丘町10-13  
〒150-0031 野元第1ビル  
電話 (03) 3496-4774 (代)  
FAX (03) 3464-1884  
info@setubikougyo.co.jp  
(購読料郵税共) 年極8,000円



きれいな除菌水<sup>1</sup>のチカラで、  
毎回手間なし除菌<sup>2</sup>。  
**NEOREST**  
HYBRID SERIES

\*1-試験機関(財)北里環境科学センター-試験方法:電解水の除菌力試験・除菌方法:電解した水道水と通常の水道水を比較・除菌率:99%以上  
効果効能:「きれいな除菌水」は汚れを制御するもので、清浄不要になるものではありません。使用・環境条件(水質・硬水率など)によっては、効果効能が異なります。  
\*2-試験機関(財)日本食品分析センター-試験方法:除菌効果試験・除菌方法:電解した水道水により洗浄・消毒成分がスルホ基を主体とした除菌剤。使用水のpH値の調整洗浄部-試験結果:99%以上

# 日本トイレ大賞表彰



有村担当相(中央)と受賞者代表

## TOTO・LIXILに大臣賞

内閣官房すべての女性が輝く社会づくり推進室は九月四日、東京・港区六本木の国立新美術館で初の日本トイレ大賞表彰式を行った。本紙関係ではTOTO(株)と積水ハウス(株)の共同開発による「おりひめトイレ」、(株)LIXILによる「途上国のトイレを改善するプロジェクト」と「NEXT DOOR Project」が女性活躍担当大臣・男女共同参画担当大臣賞、成田国際空港(株)の「GALLERY TOTO」が国土交通大臣賞に輝いた。

海外の方にも身体の不自由な方にも安全で快適なトイレとなるよう日本の高度な技術を活かし、おもてなしの心の具体化に努めたい」と述べた。

このあと張本邦雄TOTO(株)会長、内山和哉積水ハウス(株)社長、八木洋介(株)LIXIL副社長らが受賞者を代表して表彰状を授与された。また加藤篤日本トイレ研究所代表理事の司会でシンポジウムが開かれ、パネリストの中野和夫(株)東急百貨店店舗運営部長、富士谷英正滋賀県近江八幡市長、赤澤亮正内閣府副大臣らが活発な意見交換を繰り返した。

今回受賞した「おりひめトイレ」は東日本大震災の教訓を活かして共同開発した移動式仮設トイレ。女性社員や仙台市の女性デザイナーも開発に加わり、子供や荷物への配慮など女性ならではの心配りと美しいデザインで高く評価された。

LIXILの「途上国

## 女性が輝く社会づくり推進

政府は有村治子女性活躍担当相の呼びかけで発足した「暮らしの質向上検討会」の提言を踏まえ、すべての女性が暮らしやすい空間へ転換する象徴としてトイレを位置づけた。二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて世界に誇れるトイレ空間を創出するジャパン・トイレ・チャレンジを推進している。日本トイレ大賞はその一環として創設され、快

表彰式では有村担当相が冒頭あいさつに立ち「途上国では劣悪なトイレ環境が深刻な社会問題となっている。公共トイレを改善することで成熟した社会を実現できる。

## 下水道施設の機能向上

### 国土省 水災害で維持管理充実

国土交通省は九月二日、東京・霞が関の同省下水道部で記者会見を開き、水災害分野の気候変動適応策を提言した社会資本整備審議会答申において、ワーキンググループを設置することを決めた。ハード対策では下水道浸水被害軽減総合マニュアルの改訂、雨水版都道府県構想ガイドラインや官民連携浸水対策の手引きの策定、下水道・河川連携策の検討、ソフト対策では水位周知制度・水位観測推進の手引きの策定、内水ハザードマップ作成の手引きの改訂などに取り組んでいく。

のトイレを改善するプロジェクト」は独自に開発した無水循環型トイレや簡易式パン型トイレ「Sato」で世界九カ国三百万人以上のトイレ環境の改善に努めている。とくに学校では衛生問題の解決や衛生教育の普及に貢献。NEXT DOOR Project」は社員の自発的な活動としてケニアのNPOと連携し、女子児童の生理問題解決へ生理用品の提供と生理教育を進めている。

「GALLERY TOTO」は成田国際空港第二旅客ターミナルの出国手続き後エリアに設けられた体感型トイレ空間。斬新な空間演出で日本のトイレ文化・技術力を世界に発信している。



古米委員長

# ハード・ソフトでガイドライン

## 国土交通省は九月九日、東京・千代田区の日

### 国交省 新たな雨水管理計画策定へ

本下水道協会が第一回「新たな雨水管理計画策定手法に関する調査検討会」(委員長・古米弘明、東京大学大学院教授)を開催した。ハード・ソフト対策のワーキンググループを設け、雨水版都道府県構想ガイドラインの策定の基本的考え方を打ち出した。また「計画規模を超える局地的な大雨に対する新たな雨水管理計画策定に係る調査検討会」を開催し、下水道施設計画・設計指針などに基本的考え方を反映する

論点をまとめた。こうした成果を踏まえ、同検討会では新たな雨水管理計画の策定に向けた各都市調査で助言や情報共有を行い、指針類に反映する内容を検討する。これに伴いストックを活用した浸水対策の水活用に必要な取り組みをフォローアップする。

初会合では小川文章同省流域下水道計画調整官と古米委員長があいさつ

府県構想ガイドラインの策定の基本的考え方を打ち出した。また「計画規模を超える局地的な大雨に対する新たな雨水管理計画策定に係る調査検討会」を開催し、下水道施設計画・設計指針などに基本的考え方を反映する

会見では山縣弘樹流域管理官付課長補佐と和田紘希水害対策係長が各施策を解説。既存施設の増補・貯留施設の整備、ICTやロボットを活用した緻密な状況把握、マンホールからの溢水の危険度判定技術の向上などに努めていく。新たな取り組みでは河川・下水道施設を接続する連結管や貯留施設を整備し、河川と下水道の流れの一体的な解析手法を開発する。

高効率を追求するテラル  
テラルの新コンセプト「Triple e」による

# 直結給水 ブースタポンプ 新登場!!



直結給水ブースタポンプユニット  
**MC5型**



## 省電力

[年間消費電力量比較]

10,340 kWh (現行型 MC4) vs 7,176 kWh (新型 MC5)

### 30% 削減!

(当社比)

軽量最大 **32%ダウン** (当社比)  
最大 **60kg** 低減 (新機種 MC5-5050-2.2AD 125kg 従来機 MC4-5050-2.2D 185kg)

静音 騒音が最大 **5dB** ダウン (当社比)

## 低振動

防振ゴムによりポンプ振動を絶縁

テラル株式会社  
www.teral.net

本社 / 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230 TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777  
東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27テラル後楽ビル6階

東京・大阪など全国9支店、47営業所